

ネイチャーセンターだより



春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

ケアシノスリ

英名：Rough-legged Buzzard 学名：*Buteo lagopus*



冬になると、雪のように白い羽のケアシノスリが、少数飛来します。翼や胴などに黒褐色の羽が斑に入ります。牧草地など開けた場所の杭や電柱の上にとまったり、ふわふわと飛んだりしながらエサのネズミやリス、カモ、小鳥などを探します。

ノスリによく似ていますが、ノスリは全体的に淡褐色をしています。また、ノスリは跗蹠(足)に羽がはえていませんが、ケアシノスリは名前の通り跗蹠に白い羽がはえています。

ネイチャーセンター日記

冬の小鳥が多く来る年、来ない年には周期があるといわれています。根室では昨年、一昨年と飛来数が少ない年が続いています。今年は、11月中ごろから根室市内でレンジャクやハギマシコ、イスカなど冬の小鳥が姿を現してくれています。春国岱では、まだあまり冬の小鳥は見られていませんが、市内の様子を見ていると今年は冬の小鳥の当たり年になるのでは？という期待が膨らみます。

冬の小鳥の食べ物の一つに第一砂丘にはえているハマニンニクの種があります。今年は夏の暑さのおかげか実はしっかりと入っているようです。

寒さの厳しい季節になりますが、ベニヒワやハギマシコ、ユキホオジロなどが訪れる楽しい季節がやってきます。

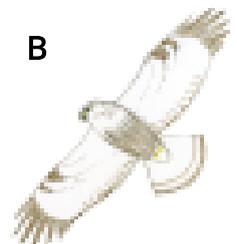
～春国岱クイズ～

冬の草原には、数種類のタカの仲間がやってきます。ケアシノスリが飛んでいる姿を下から見た絵はどちらでしょうか？

A



B



ヒント：

尾の形が扇のような形をしています。



答えは来月号

(先月号の答え A)

ネイチャーセンターからのお知らせ

風蓮湖の魅力を探るバスツアー

10月31日(日)、「風蓮湖の魅力を探るバスツアー」を開催しました。これは風蓮湖をバスで一周し、市民の方に風蓮湖の魅力を再発見してもらおうと毎年開催しているものです。今年も17名の参加があり、朝9時に市役所駐車場を出発、道の駅スワン44、槍昔、走古丹などをめぐりながら、風蓮湖の自然や根室の歴史に触れました。

最後のポイントである春国岱では、カモを捕まえようとするオジロワシの狩りの様子を観察することができました。何度もスズガモに逃げられながらも果敢に挑むオジロワシの姿に、参加者から驚きの声があがっていました。

今年は根室だけでなく、中標津からの参加もあり、「多くの野鳥がいることに感動した」、「また別の季節にも見に来たい」との感想をいただきました。



オジロワシ



スズガモ



NEMUROざりがに探偵団

NEMURO ざりがに探偵団の活動を10月10日と11月14日に行いました。10月は83匹、11月は76匹のウチダザリガニを捕獲できました。2回あわせて24人の参加者のみなさんとカニ籠とタモ網を使って捕獲活動を行いました。

この活動は、特定外来生物であるウチダザリガニを捕獲することで、根室にもともと生息している生き物を守るための活動で、今回が5回目となります。明治公園の池であわせて600匹のウチダザリガニを捕まえました。今年の活動は今回で終了しますが、来年度も活動を続けたいと考えています。



ボランティアの活動

■ ネイチャーセンターまつりを開催しました！ ■

11月3日に、毎年恒例「ネイチャーセンターまつり」をボランティア・グループ スンクのみなさんが開催しました。今年はお天気に恵まれ、44の方が参加してくださいました。

午前中は木の板におが粉に色をつけたもので、立体的な絵を描くおが粉アートに挑戦し、個性的なものやかわいいものなどたくさんの作品が出来上がりました。

午後は森を歩きながら、自然の宝物をビンゴを使いながら探すなど、秋の一日を自然の中で楽しみました。



自然観察路周辺の自然情報 * 12・1月 *



風蓮湖や春国岱の沿岸が凍るとゴマフアザラシが氷上へ上がって休憩する姿が見られるようになります。

クロガモやホオジロガモ、コオリガモ、ピロードキンクロなど海ガモの仲間が春国岱沿岸、沖合の波間を泳ぐ姿が見られます。



海ガモの仲間



オジロワシ



オオワシ

オオワシ、オジロワシの飛来数が12月から徐々に増え、1月下旬から2月上旬にかけて最も多くなります。風蓮湖の周りの木に止まり休息する姿や氷の上においている姿がよく見られるようになります。



草原の鳥

冬を根室で過ごす小鳥達がやってきます。ハギマシコやコキホオジロ、ベニヒワなどが春国岱の草原で見られるようになります。



ハイロチュウヒ

ハイロチュウヒやノスリ、冬のフクロウ・コミミズクなどが渡ってきます。コミミズクは夕方に草原や湿原を飛んでネズミを探します。



コミミズク



カモメの仲間

普段見られるオオセグロカモメのほかミツコビカモメやシロカモメ、ワシカモメなど冬を根室で過ごすカモメの仲間たちがやってきます。



アカゲラやオオアカゲラ、コゲラなどが見られます。

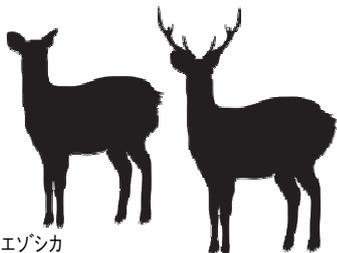


オオアカゲラ

オオハクチョウ

タンチョウ

風蓮湖が凍ると、タンチョウは釧路や阿寒、鶴居などの給餌場へ、オオハクチョウは本州など凍っていない場所へ移動します。



エゾシカ

エゾシカたちが、小鳥の小道や春国岱の草原でのんびりと草を食べたりする姿が見られます。オスは立派な角をはやしています。



ハシブトガラ

シジュウカラ、ミヤマカケス、ハシブトガラ、エナガ、マヒワ、イスカ、ミソサザイなど森の小鳥が見られます。



エゾリス

朝の森で木の上や地面を走るエゾリスの姿を見る機会が多くなります。厳しい冬の間はエサ台に来ることもあります。

イベント・展示情報

★フィールド講座2 野生の生きものよもやま話

道の元自然保護担当として経験した出来事、ケガや病気の生き物の保護、アライグマやウチダザリガニなど外来種の問題、野鳥（オオハクチョウなど）に対する餌やりなどのお話をしながら、野生の生きものと人との関わり方を一緒に考えます。

日時：1月16日（日） 13:30～15:00

講師：高橋克巳氏（人と野生生物の関わりを考える会、NEMURO ざりがに探偵団）

定員：20名（先着順）

会場：春国岱ネイチャーセンター2階

対象：一般（小学生以下保護者同伴）

参加費：100円

申込み：1月13日（木）まで（電話にて受付）



風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

フィールドボランティア募集中！！

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円（年間）が必要となります。



【お問合せ】電話 0153-25-3047

団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
 - 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
- 詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。（電話 0153-25-3047）



- | | |
|-----------------------|------------------|
| ① 野外解説・自然学習 | （～2時間 / ～20名） |
| ② 春国岱の自然（映像） | （15分～25分 / ～45名） |
| ③ 自然クイズラリー | （約1時間 / ～50名） |
| ④ タンチョウ、カモ類についての学習ゲーム | （30分～2時間 / ～20名） |
| ⑤ 施設概要説明 | （30分～2時間 / ～45名） |



～メール配信のお願い～

ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページでもご覧いただけます。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅103番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール■ nemu_nc@marimo.or.jp
- 12・1月の開館時間■ 9:00～16:30
- 12月の休館日■ 1、8、15、22、24、29、30、31日
- 1月の休館日■ 1、2、3、4、5、11、12、19、26日

